



## 2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年6月29日

上場会社名 ナガイレーベン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7447 URL <https://www.nagailleben.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤登 一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山村 浩之 TEL 03-5289-8200  
 四半期報告書提出予定日 2023年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年8月期第3四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	13,187	△3.2	3,540	△10.2	3,598	△10.4	2,480	△17.4
2022年8月期第3四半期	13,617	△3.0	3,940	△8.4	4,014	△8.2	3,002	△0.2

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 2,452百万円 (△8.0%) 2022年8月期第3四半期 2,666百万円 (△15.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	76.89	—
2022年8月期第3四半期	91.65	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率は当該会計基準等適用前の2021年8月期連結業績と比較し増減率を計算しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第3四半期	47,083	42,789	90.9
2022年8月期	47,347	42,255	89.2

(参考) 自己資本 2023年8月期第3四半期 42,789百万円 2022年8月期 42,255百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	2.6	4,574	△9.1	4,638	△9.8	3,164	△16.2	98.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	35,736,000株	2022年8月期	35,736,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	3,467,061株	2022年8月期	3,475,817株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	32,264,720株	2022年8月期3Q	32,762,208株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	8
3. その他 .....	9
販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による活動制限が緩和され、社会経済活動の正常化に向けた動きが見られるものの、ウクライナ情勢の長期化などの地政学上リスクの継続や、為替の変動、原材料価格及びエネルギー価格の高騰などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

医療・介護を取り巻く環境としましては、ここ数年で社会的に大きな課題であった新型コロナウイルス感染症の猛威が沈静化に向かってまいりました。3月にはマスク着用の緩和、5月からのコロナウイルスの感染症法上の分類が2類から5類への変更により着実に医療供給体制は落ち着きを取り戻しつつあります。一方、進行するインフレに伴う諸物資の値上がりとともに医療・介護従事者の賃上げも重なり、医療・介護施設の経営環境は急速に厳しくなり始めてきております。

このような環境の中、当社グループ（当社及び連結子会社）は、高騰する原価上昇を受け、2月より値上げの価格改定を行いました。概ね市場に浸透されてはいるものの、一部の更新物件においては、価格交渉に時間を要し、主力のコア市場を中心に第4四半期への月ズレが発生しております。その影響を受け、当第3四半期連結累計期間における売上は430百万円の減収（前年同期比3.2%減）となりました。第4四半期は更新の遅れている物件を確実にキャッチアップし、売上の回復に努めてまいります。

利益面におきましては、外部環境の急変による原価への影響が大きく懸念されましたが、海外生産比率の引き上げ、為替先物予約による安定化、海外物流状況の改善、商品価格の改定などの収益性の改善により、第2四半期連結累計期間は42.9%となりましたが、当第3四半期連結累計期間の売上総利益率は、引き続き収益性の改善を行った結果、前年同期比0.9ポイント減の43.8%となりました。

販売費及び一般管理費におきましては、新型コロナウイルス感染症に関連し、医療機関への訪問規制が緩和され、国内外での営業活動の回復により、旅費交通費及び展示会費が増加し、前年同期比4.2%増となりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては13,187百万円（前年同期比3.2%減）、営業利益は3,540百万円（同10.2%減）、経常利益は3,598百万円（同10.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に政策保有株式の売却による投資有価証券売却益338百万円を計上した特殊要因もあり、2,480百万円（同17.4%減）を計上いたしました。引き続き、通期の連結業績予想達成に向けて、販売体制の強化と将来の成長に向けた基盤整備を進めております。

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は47,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ264百万円減少いたしました。流動資産合計は38,669百万円となり233百万円減少し、主な要因は、現金及び預金の減少2,105百万円、電子記録債権の増加822百万円、棚卸資産の増加800百万円、受取手形及び売掛金の増加222百万円等であります。固定資産合計は8,414百万円となり、31百万円減少いたしました。その内訳として有形固定資産は7,265百万円となり116百万円減少、無形固定資産は59百万円となり2百万円増加、投資その他の資産は1,089百万円となり83百万円増加いたしました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は4,293百万円となり、前連結会計年度末に比べ799百万円減少いたしました。流動負債合計は3,282百万円となり766百万円減少し、主な要因は、未払法人税等の減少470百万円、支払手形及び買掛金の増加191百万円等であります。固定負債合計は1,011百万円となり、32百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は42,789百万円となり、前連結会計年度末に比べ534百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益2,480百万円の計上による増加、配当の実施による1,935百万円の減少等であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の89.2%から90.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2022年10月3日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,560,650	26,454,925
受取手形及び売掛金	2,992,165	3,214,834
電子記録債権	2,247,492	3,069,982
棚卸資産	4,886,229	5,687,046
その他	216,314	242,910
貸倒引当金	△528	△637
流動資産合計	38,902,323	38,669,062
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,577,063	2,536,665
機械装置及び運搬具（純額）	193,461	178,649
土地	4,440,815	4,440,815
建設仮勘定	52,855	—
その他（純額）	117,679	109,120
有形固定資産合計	7,381,874	7,265,250
無形固定資産	56,991	59,129
投資その他の資産		
投資有価証券	173,855	172,681
その他	834,733	919,004
貸倒引当金	△1,800	△1,800
投資その他の資産合計	1,006,789	1,089,886
固定資産合計	8,445,654	8,414,266
資産合計	47,347,978	47,083,329
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,607,931	1,799,501
未払法人税等	1,055,531	585,048
賞与引当金	88,670	161,442
その他	1,296,460	736,368
流動負債合計	4,048,594	3,282,360
固定負債		
役員退職慰労引当金	33,610	36,250
退職給付に係る負債	633,951	600,630
その他	376,561	374,426
固定負債合計	1,044,123	1,011,307
負債合計	5,092,718	4,293,667

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,925,273	1,925,273
資本剰余金	1,922,827	1,930,127
利益剰余金	42,532,681	43,077,807
自己株式	△4,151,203	△4,140,746
株主資本合計	42,229,578	42,792,461
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,303	65,784
繰延ヘッジ損益	43,295	1,868
退職給付に係る調整累計額	△84,917	△70,453
その他の包括利益累計額合計	25,682	△2,799
純資産合計	42,255,260	42,789,661
負債純資産合計	47,347,978	47,083,329

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	13,617,258	13,187,655
売上原価	7,528,095	7,408,600
売上総利益	6,089,162	5,779,054
販売費及び一般管理費	2,148,229	2,238,601
営業利益	3,940,932	3,540,453
営業外収益		
受取利息	1,537	3,515
受取配当金	9,249	3,960
受取賃貸料	66,365	66,340
為替差益	14,763	368
雑収入	10,787	17,119
営業外収益合計	102,703	91,304
営業外費用		
固定資産賃貸費用	28,492	32,817
雑損失	1,111	736
営業外費用合計	29,604	33,553
経常利益	4,014,032	3,598,203
特別利益		
固定資産売却益	136	—
投資有価証券売却益	338,068	—
特別利益合計	338,204	—
特別損失		
固定資産除売却損	7,036	1,005
特別損失合計	7,036	1,005
税金等調整前四半期純利益	4,345,200	3,597,198
法人税、住民税及び事業税	1,446,175	1,174,833
法人税等調整額	△103,704	△58,372
法人税等合計	1,342,470	1,116,460
四半期純利益	3,002,729	2,480,737
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,002,729	2,480,737



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純利益	3,002,729	2,480,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△380,344	△1,519
繰延ヘッジ損益	30,405	△41,427
退職給付に係る調整額	14,071	14,464
その他の包括利益合計	△335,866	△28,482
四半期包括利益	2,666,862	2,452,255
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,666,862	2,452,255

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（自己株式の取得）

当社は、2023年6月29日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

定款の定めに基づいて、今後の経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行のため、自己株式を取得するものであります。

2. 取得の内容

（1）取得する株式の種類	当社普通株式
（2）取得する株式の総数	500,000株を上限とする （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.5%）
（3）株式の取得価額の総額	10億円を上限とする
（4）取得する期間	2023年6月30日から2023年12月11日
（5）取得方法	東京証券取引所における市場買付

（ご参考）2023年2月28日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数（自己株式を除く）	32,268,939株
自己株式数	3,467,061株

## 3. その他

## 販売の状況

## 販売実績

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、市場別情報を記載しております。

市場別（千円）	当第3四半期連結累計期間 （自 2022年9月1日 至 2023年5月31日）	前年同四半期比（％）
コア市場	9,759,908	95.9
（ヘルスケアウェア）	(7,355,389)	(97.0)
（ドクターウェア）	(1,987,231)	(96.3)
（ユーティリティウェア・他）	(415,608)	(78.6)
（感染対策商品）	(1,678)	(64.0)
周辺市場	3,286,735	100.5
（患者ウェア）	(2,103,420)	(102.3)
（手術ウェア）	(1,183,314)	(97.4)
海外市場	141,011	83.0
合計（千円）	13,187,655	96.8